

平成 24 年第 10 回加西市教育委員会会議録

1. 開会日時 平成 24 年 10 月 23 日 (火) 13 時 30 分
2. 閉会日時 同 日 15 時 20 分
3. 開催場所 加西市役所 5 階大会議室
4. 出席委員 委 員 長 荒 木 貴 子
委 員 市 場 かおり
委 員 渡 邊 隆 信
委 員 内 藤 堯 雄
教 育 長 永 田 岳 巳

5. 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名

教育次長	大 西 司
市参事兼こども未来課長	立 花 聡
学校教育課長	小 林 剛
文化スポーツ課長	深 江 克 尚
総合教育センター所長	柿 本 博 司
図書館長	村 岡 敏 弘
教育総務課長	中 倉 建 男
教育総務課課長補佐	高 井 聡 子

6. 付議事項

議案第 39 号 加西市文化財審議委員の委嘱について

7. 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8. 質問及び討議の内容

議案第 39 号 加西市文化財審議委員の委嘱について

議案第 39 号 加西市文化財審議委員の委嘱について、文化スポーツ課長より、前回の教育委員会では 7 名の加西市文化財審議委員委嘱の議決をいただき、残り 1 名の委員として、神戸大学文学部特命準教授であり、加西市史の編纂や公民館の歴史講座等を担当いただいている坂江渉氏に委嘱をしたいと説明する。また、任期は、他の 7 名と同じく平成 24 年 10 月 1

日から平成26年9月30日までの予定であると説明する。

教育委員より、遠方から御足労を願うが、よろしくお願いをしたいと述べる。

以上をもって、原案どおり承認される。

9. 議決事項

議案第39号 加西市文化財審議委員の委嘱について

原案どおり可決

10. 報告事項

(1) 教育長の報告

教育長より、10月9日に開催された兵庫県市町村教育委員会連合会第2回常任理事会で話し合われた会則の見直しの方向性等について、以下のとおり内容を報告する。まず、来年度に向けての会則の変更案として、実態に即した表記に改めることとし、理事数は各市郡より1名、各市町組合より1名選出し、若干名を43名に変更する。理事は各市町より教育委員長か教育長のいずれか1名であるが、加西市は私が常任理事のため、教育委員長は理事になっていただくこと、総会出席者については、県下教育委員全員を対象とし、全教育委員の過半数の出席により成立とするに変更し、出席する構成員の過半数により議決することを、理事会で審議、決定し総会で報告し承認を得るに変更すると説明する。加西市では、教育長が常任委員として、委員長が理事として出席し、それに加えて教育委員の代表1名の出席が必要となるため合計3名の総会出席となると説明する。

次に、地区別研修会は、総会の後、全県対象で少なくとも年3回の開催予定で、研修については、県や教育事務所との共同開催も検討していること、全県教育長研修会の開催については、教育長が2日間不在となることの支障も予想されるが、1日開催では過密日程となり、現実として困難であると判断し、平成25年度は今年と同じ日程で行うことになったことを報告する。

その他として、改訂版いじめマニュアルの作成配布について、本年12月に県下150校の県立高校全教職員について配布する予定であること、さらに、兵庫県市町村教育委員会連合会の副会長である伊丹市の佐藤教育長が、10月に任期満了のため退任となり、後任の教育長が副会長として残任期間を務められることを報告する。

(2) 市参事兼こども未来課長の報告

市参事兼こども未来課長より、幼稚園での2年幼稚園教育について、来年度、4・5歳児を対象に、幼稚園で2年間の幼稚園教育を実施検討して準備を進めており、課題として、研

修会の実施やカリキュラム作成の問題があり、3歳児教育については今後検討していきたいと報告する。

次に、「就学前児童保護者用 子育てアンケート結果」について、ふるさと創造部人口増政策課で集約された資料であるが、子育て支援に関するアンケート等があるため了解を得て事前に配布したものであり、その内容として、欲しい支援について、交流の場など施設整備を求める意見が多くあったこと、就学前教育については、内容の周知が不足していたことが分かり、各園でのPRが必要と感じたこと、保護者の情報入手については広報やパンフレット等の紙媒体や、園からの情報伝達が大切であると分かったことを報告する。

続いて、私立認定こども園設立に向けての要望について、今年度、社会福祉法人から、休園中の下里幼稚園の用地を利用し、私立認定こども園施設を設立したいとの要望が市側にあり、市では教育委員会を交えて検討をしていることを報告する。内容としては、幼稚園跡地利用とともに用地面積約3,000㎡から5,000㎡で、平成26年度に工事を行い、平成27年度4月の開園に向け準備を進めたいというものであり、課題として、市全体で社会福祉法人の土地活用計画についての検討が必要なこと、下里幼稚園の廃止に伴う国県への手続きや、条例改正等の手続きが必要となること、公的資金の財源確保、認定こども園の認可手続き、土曜学童拠点施設の設置場所の検討が必要になることがあると報告する。

(3) 教育総務課長の報告

教育総務課長より、教育施設耐震化工事等進捗状況について、北条中学校体育館耐震補強工事は、10月22日に部分完成検査を行い、10月26日より内部を使用し、現在は外構工事を行なっていること、日吉小学校体育館耐震補強工事は、内部を既に利用しており、10月末に全体が完成すること、(仮称)北条学校給食センター建設工事設計は、基本設計を進めており、泉・善防中学校耐補強工事設計については、改修計画図面の作成中であることを報告する。

次に、教育委員会評価の難易度基準等について、評価委員会の評価結果で、難易度と達成度の内容基準が必要ではないかとの指摘があり、今回その設定内容案を具体的にまとめたもので、今後、協議及び整理する予定であること、また、今後の対応を明確にするため、実践目標、評価結果とその対応・課題をまとめ、今後の教育委員会運営に反映していきたいことを報告する。

(4) 学校教育課長の報告

学校教育課長より、児童・生徒の学習、学校生活について、次のとおり報告する。10月10日に11小学校の体育大会が北条小学校で行われたこと、また、本日10月23日から2日間で小学校6年生が修学旅行に元気に出かけていること、9月後半から中学校では部活動の充実に取り組んでおり、小学校ではスポーツ少年団や社会体育の分野で活躍できる場が多々あること、さらに、長島愛生園の谷川氏が、明日、北条小学校を訪問することを報告す

る。続いて、市教育委員会指定の研究発表会として、11月2日に加西特別支援学校が播磨東教育事務所主催の学級経営研究会を行い、11月6日に西在田小学校、9日には賀茂小学校で算数科の研究会、11月15日には善防中学校で道徳教育の研究会を計画していることを報告する。

続いて、小学校の女性教員の非違行為の件で、地に足のついた取組を継続していくことが市民の方に安心いただけ、保護者に説明ができるものであらうと考えており、10月9日には県への報告を完了したことを報告する。臨時校長会や定例教頭会で、事務局から、ひとりの職員の非違行為が職全体や市民に及ぼす影響について話をし、管理職として、何をいつ指導するかについて確認をしたと説明をする。さらに、県からの服務規律の確保について、新たに通知通達を含め各学校に配布し、何をどう指導するかについて申し合わせ、また、学校の実情に合った事例研修も指示をして実施をしていると説明する。今後も地に足の着いた教育の推進を続けるため、事務局としても精一杯やっていきたいと述べる。

(5) 文化スポーツ課長の報告

文化スポーツ課長より、社会教育委員会について、11月12日（月）に開催を予定しており、平成25年度からオークタウン加西が地域振興部から教育委員会に所管替えになる関係で、青少年活動を中心とした社会教育施設として活用を図っていきたいと考えており、社会教育委員に施設を視察してもらい、助言をいただきたいと考えていることを報告する。

次に、第20回ふれあい伝統芸能フェスティバルについて、11月23日（金）に播磨農業高校で農高祭にあわせて開催するものであると報告する。これは、播州歌舞伎の芝居小屋が農高内にあることや、郷土伝統文化継承クラブという高校の部活動で播州歌舞伎を継承していることから、広く一般市民に見ていただくということで農高祭にあわせて開催するものであり、ほかに加西市内の郷土芸能である網引町の獅子舞ほかの方も出演いただくと説明する。

(6) 総合教育センター所長の報告

総合教育センター所長より、加西市小中連携教育推進委員会報告について、9月28日に各学校の代表者に出席いただき、小中連携教育の取組状況の情報交換をし、情報を共有しながらそれぞれの具体的な活動を話し合ったと報告する。昨年度の課題解決のための取組や、現時点での成果と課題及び今後の取組、また、小中連携推進に当たっての確認事項などについて話し合いをし、来年2月に、再度委員会を開き、来年度に向けてさらに具体的な取組について考えていく予定であると説明する。

次に、子ども情報誌の改善について、次のとおり報告をする。夏休み前に子供向けのイベント等を紹介する機関誌を発行していることについて、関係機関から意見をいただきながら改善を図っていこうと考えたもので、発行時期、誌面の使い方、その他の意見を多くいただき、発行に伴う課題として、限られた紙面での掲載の問題等があるが、いただいた意見を参

考に、出来るだけ多くの情報提供ができるようにすすめていきたいと報告する。

(7) 図書館長の報告

図書館長より、郷土資料係（旧市史編集室）の引越しについて、加西市団体事務所にあった郷土資料係が10月1日に図書館内に移転をしたと報告する。平成24年4月に機構改革で図書館が教育委員会に所管替えになり、同時に市史編集室も図書館の郷土資料係として再編成されたことや、市史編纂事業が平成22年度最終巻の刊行をもって区切りの時期を迎えたことと、また、団体事務所の建物が経年経過していたことによるものであると説明する。今後、郷土資料係は、資料収集や資料のデジタル化、絵画画面の複製作業等の業務に移行していくが、加西市史を読む会や特別講演会等は今後も継続していくことを報告する。

次に、「県内図書館情勢」について、9月26日に明石市立図書館で東播磨地区図書館等連絡協議会の職員研修会があり、県内の図書館情勢として資料をもらったもので、県内図書館の新築や移転情報、指定管理者制度導入の状況について報告する。また、「公共図書館の活動状況」について、兵庫県公立図書館調査による開館日数等の状況や、児童サービスに関する調査について報告する。

11. 協議事項

報告事項の中から

○加西市小中連携教育推進委員会報告について

教育委員より、加西市小中連携教育推進委員会報告について、全体として中一ギャップの緩和という目的が大きいと思われ、小学校での特色ある取組や優れた取組を中学校でも引き継ぎ伸ばしていく、足し算の連携についての意見はなかったのかという質問があり、総合教育センター所長より、今回の委員会ではそこまでの意見はなく、課題視されている校則部分のギャップへのとまどいや、それぞれの小学校の特色ある活動が小学校同士での共有もありながら中学校へつなげれば良いといった議論があったと回答する。

教育委員より、加西市小中連携教育推進委員会報告について、現時点での成果と課題にある「教職員の意識」について、具体的な内容について質問があり、総合教育センター所長より、小中連携については推進委員会の委員が主体でやっているという意識があるため、その他の教職員の意識を高めるために、それぞれの学校で部会をつくり、全職員が関わっているという認識を持つという取組が必要ではないかという意味であると回答する。教育委員より、中学校間のルールの違いはないのかという質問があり、総合教育センター所長より、それも課題となっており、生徒指導部会でも大きな課題として校則が上がっており、今後、現状を把握して校則について再度見直すべく進めていると回答する。

○「就学前児童保護者用 子育てアンケート結果」について

教育委員より、「就学前児童保護者用 子育てアンケート結果」について、多くの貴重な意見があると思うが、一般の方が見られる状態にあるのかとの質問があり、市参事兼こども未来課長より、このアンケートの集約担当はふるさと創造部であり、今後、小学校、中学校の保護者にも同様のアンケートを実施する予定で、後日取りまとめて発表する予定と聞いているが、今回集約の部分のみ先に見ていただいたもので、全体的なものは後日にふるさと創造部から発表される予定であると説明する。教育委員より、保護者が熱心に子供たちのことを考えて出されている意見であり、その意見がどう取り入れられるか興味のあるところであると思うので、良いことも悪いことも含めて公表して、今後どのように対処するか示してもらえれば真剣さが伝わるのではないかと、また、すべてを公表してはどうかとの意見があり、市参事兼こども未来課長より、このような意見があったと担当課に伝えるが、ボリュームの面ですべての意見を公表するのは難しいかと思うと回答する。教育委員より、公表について少し整理をされても良いかと思うが、開かれた情報という意味でも大事なことではないかと意見がある。

教育委員より、このアンケートでは、率直な意見が出されており、すべての意見を取り入れるのは不可能であるが、出来ることは取り入れることが大事である、また、子育て情報や保育情報等について、幼稚園や保育所を通して頻繁に伝えることが大切かと思うとの意見がある。

○私立認定こども園設立に向けての要望について

教育委員より、私立認定こども園の設立について、建設工事は26年度に実施し、27年度に開設予定とあるが、これは決定事項かとの質問があり、市参事兼こども未来課長より、決定事項ではなく、社会福祉法人からの要望であると回答する。

○教職員の服務規律の確保について

教育委員より、教職員が多忙であり、勤務時間の適正化との話があったが、教職員が多忙になることで注意力が散漫になる等の危険性もでてくると思うので、先生方の毎日の仕事に影響を及ぼすことのないように配慮してほしいと意見を述べる。

○教育委員会評価の難易度基準等について

教育委員より、教育委員会評価については、今回、評価委員の方の意見への対応を見直し、次年度につなげることが大切と思う、さらに、結果を真摯に受け止め、来年度、改善していかなければならないこと、行政機関として、組織としての対応を考えていかなければならないと意見を述べる。

12. 教育委員の提案

教育委員より、「就学前児童保護者用 子育てアンケート結果」について、保護者から貴重

な意見をいただいている今後参考にしていったらよいと思うが、サービスを充実させてほしいといった内容の要望が多く見受けられ、保護者が保育所を含めて学校教育の機関を消費の対象としてとらえ、サービスを提供しているというスタンスで考えている方がおられるようであり、その点については、そういう部分もあるが、学校、園と家庭は協同で子供を育てるもので、保護者も教育の当事者であるという意識を保護者に持っていただく機会を、いろいろな場で啓蒙、啓発が必要かと思うと意見を述べる。また、その点を指摘している保護者や、支援する側として自らも参加したいという保護者もいて、一緒に子供を育てていくという意識を保護者に持っていただきたいと述べる。

教育委員より、学童保育について、子育てアンケートで子供を安心して長時間預けたいとの意見もあったが、加西市独自の取組として、学童の中に英語の教育を取り入れたり、送迎をしたりということを考えてほしいと要望があり、市参事兼こども未来課長より、学童については小学校3年生までの預かりで、保育に欠けるというところがあり学習塾的なことは行っておらず、保護者が迎えに来るまでの時間帯をリラックスした気持ちで過ごすという形で、宿題や運動等をして臨機応変に対応しており、学習塾的なかたちは考えておらず、地域のボランティアの方のご協力や参加はありがたいものであると考えていると説明する。教育委員より、学校訪問で感じることとしてALTの授業は週1回しかなく、英語の必要性が高くなっていく中、将来、通用する英語の基礎不足ではないかと感じており、生きた英語を話せる子供の育成は難しいのかとの質問があり、市参事兼こども未来課長より、保護者や地域の方の中で、そのような特技等を持っておられれば、触れ合うということで学童に取り入れるのは良いかと思うと回答する。

教育委員より、英語を話す雰囲気づくりを全市で作ってほしい、小学校のALT導入、優秀な若い教員の活用など、言語活動をバランス良く育てるよう配慮してほしいと要望がある。

教育委員より、4月に採用された新任教員は、その後元気に勤めているのかとの質問があり、学校教育課長より、新任教員の配当クラスは学校訪問で見ていただいたとおりの状況であり、気持ちを冷静に保って子どもにあたるように研修も積み、半期が折り返したところであり、悩みや不安はあるが、頑張っておられると回答する。

教育委員より、現場の子供たちが元気に過ごせるように、先生方が一丸となり取り組んでおられると思い、教育委員会もバックアップしていきたいと述べる。

13. 今後の予定について

- | | | | |
|--------------|-----------|--------|----------|
| ・第11回定例教育委員会 | 11月21日(水) | 13:30～ | 総合教育センター |
| ・第12回定例教育委員会 | 12月20日(木) | 13:30～ | オークタウン加西 |

この会議録は、事務局職員が作成したものであるが、真正であることを認めここに署名する。

平成 24 年 10 月 23 日

出席委員

(出席委員署名)